

第1号様式

(第1面)

事業活動地球温暖化対策計画書

(あて先) 川崎市長

郵便番号 108-0075
 住 所 東京都港区港南2-18-1JRイーストビル
 氏 名 株式会社 GFF
 代表取締役社長
 小池正昭

(法人にあつては、名称及び代表者の氏名)

川崎市地球温暖化対策の推進に関する条例第9条第1項（同条第4項において読み替えて準用する場合を含む。）の規定により、次のとおり提出します。

事業者の氏名 又は名称	株式会社 GFF		
主たる事務所又は 事業所の所在地	川崎市 川崎区東扇島6-10 かわさきファズA棟3-9		
該当する事業者 の要件	<input checked="" type="checkbox"/> 規則第4条第1号該当事業者		
	<input type="checkbox"/> 規則第4条第2号該当事業者		
	<input type="checkbox"/> 規則第4条第3号該当事業者		
	<input type="checkbox"/> 規則第4条第4号該当事業者		
	<input type="checkbox"/> 上記以外の事業者（任意提出事業者）		
主たる事業 の業種	大分類	E	製造業
	中分類	09	食料品製造業
主たる事業 の内容	ゼンショーホールディングスグループへの食材の供給		
事業者の規模	<input checked="" type="checkbox"/> 原油換算エネルギー使用量	2,480	k l
	<input type="checkbox"/> 自動車の台数		台
	<input type="checkbox"/> エネルギー起源の二酸化炭素 以外の温室効果ガスの排出の量		t -CO ₂
連絡先	担当部署	担当部署名	
		所在地	
	電話番号		
	FAX番号		
	メールアドレス		

※受付欄		※特記事項	※事業者番号	

(第2面)

計 画 期 間	2021 年度 ~ 2023 年度
温室効果ガスの排出の量の削減を図るための基本方針	別添 指針様式第1号のとおり
温室効果ガスの排出の量の削減に向けた組織体制	別添 指針様式第1号のとおり
温室効果ガスの排出の量の削減目標及び温室効果ガスの排出の量	別添 指針様式第1号のとおり
温室効果ガスの排出の量の削減目標を達成するための措置の内容に係る事項	別添 指針様式第1号のとおり
他の者の温室効果ガスの排出の抑制等に寄与する措置に係る事項	別添 指針様式第1号のとおり
その他地球温暖化対策の推進への貢献に係る事項	別添 指針様式第1号のとおり
備 考	

- 備考 1 欄内にすべてを記載できない場合は、別紙により提出してください。
2 □のある欄は、該当する□内にレ印を記載してください。
3 計画書には、事業活動地球温暖化対策指針に定める資料を添付してください。
4 ※印の欄は記入しないでください。
5 氏名（法人にあっては、その代表者）を記載し、押印することに代えて、本人（法人にあっては、その代表者）が署名することができます。

事業活動地球温暖化対策計画

1 温室効果ガスの排出の量の削減を図るための基本方針

(1) 温室効果ガス排出量削減に向けた方針

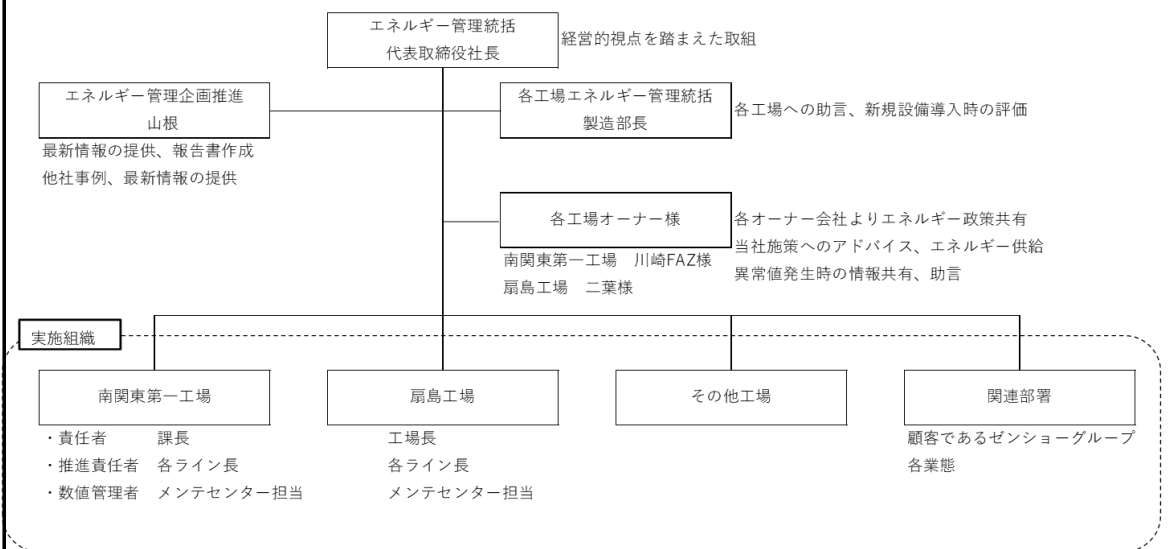
設備入替時、エネルギー効率の良い設備導入を行うとともに、生産性を向上させて、温室効果ガス排出を図る。
 両工場とも、テナントなので、ビルオーナー様にアドバイザーとして、当社エネルギー使用量の異常値の連絡や設備更新時のアドバイスを頂く。

(2) 削減対策実施状況の適切な進行管理（PDCAサイクル）を行うための方針

設備更新時に社内他工場や他社、メーカーより適切に情報収集を実施し、社内のワークフローに乗せて、関係者が相互チェック及び指導を実施することにより、レベルアップを図る。
 定期的(現在週1回実施)のメンテセンターWeb会議により、情報共有を行う。

2 温室効果ガスの排出の量の削減に向けた組織体制

株式会社全体としての組織体制は、以下の通りとする。
 但し、川崎市報告用として、南関東第一工場と扇島工場に特化させてカスタマイズしたもの。
 組織変更を踏まえ、あえて各個人の名前は省略した。



3 温室効果ガスの排出の量の削減目標等

(1) 温室効果ガスの排出の量の削減目標及び温室効果ガスの排出の量等

ア 基準排出量と目標排出量（（実）は実排出量を、（調）は調整後排出量を示す。以下同じ。）

		1、2、4号該当者等	3号該当者等
基準	年度	2020 年度	
目標	年度	2023 年度	
基準	排出量	(実) 4,915	(実)
		(調) 4,829 t-CO ₂	(調) t-CO ₂
目標	排出量	(実) 4,748	(実)
		(調) 4,665 t-CO ₂	(調) t-CO ₂
削減量		(実) 167 t-CO ₂	(実) t-CO ₂
内訳	対策実施による削減量	(実) 167 t-CO ₂	(実) t-CO ₂
	上記以外の削減量	(実) 0 t-CO ₂	(実) t-CO ₂
削減率		(実) 3.4 %	(実) %

イ 基準排出量原単位等と目標排出量原単位等（任意記載）

		1、2、4号該当者等	3号該当者等
原単位等の活動量		製造重量	
原単位の単位		t-CO ₂ /ton	
基準年度の値		0.1797	
目標年度の値		0.1737	
削減率		3.3 %	

ウ 目標設定に関する説明

<p>当社は、ゼンショーホールディングス内で、食材を加工し、供給する会社である。 グループ内には、ファストフード、ファミリーレストラン、外販食品販売業といった様々な食を消費者に届ける会社があり、それぞれの会社からの要求に応じて、食材の加工（開発と製造、販）を行っている。 国への報告では、製造高を原単位として、使用しているが、川崎市内2工場の特性から製造重量を原単位として、採用した。（製品単価は当社で決定できないため。その比率が対象工場では高い） 製造重量は、増加傾向であるため、固定分のエネルギー量が希薄化し、結果的にエネルギー削減につながるかと想定する。また、南関東第一工場は設備更新時期なので、高効率設備の導入により、消費量の削減を企図する。</p>
--

(2) 温室効果ガスの排出の量の削減目標（全社目標）（任意記載）

<p>特記事項無し。</p>

4 温室効果ガスの排出の量の削減目標を達成するための措置の内容に係る事項

(1) 措置の内容

ア 計画期間に実施する措置の内容 (別表第1から6等を参考に記載してください。)

計 画	A 社内他工場との情報共有と横展開 B ビルオーナーとの協業 C 現場作業員への省エネルギー教育と訓練、監視 D 設備更新時、高効率設備への更新 E 自動台数制御していない設備を自動台数制御化する F 定期メンテナンスの計画化と実施
第1年度	
第2年度	
第3年度	
計画期間における取組の評価 (第3年度の報告時に記載)	

イ 実施済みの主な温室効果ガスの排出の量の削減対策内容

設備では、ビルオーナー側と協議を実施して、自分たちの賃借エリアで可能な政策は、既に完了している。 設備頼りでない、従業員教育は、外国人が多いこともあり、完全とは言えない状況なので、わかりやすいマニュアル整備と教育、訓練等実施可能性はある。
--

(2) 再生可能エネルギー源等の利用等

ア 基準年度までに実施した再生可能エネルギー源等の利用に係る検討状況

(検討済みの場合は「○」、未検討の場合は「×」を記載し、検討済みの場合は検討結果を記載してください。)

再生可能エネルギー源等の種類	検討の有無	検討結果
太陽光	×	テナントなので不可能
風力	×	テナントなので不可能
バイオマス	×	テナントなので不可能
未利用エネルギー	×	テナントなので不可能
その他 ()		
その他 ()		

イ 再生可能エネルギー源等を利用した設備の導入状況・計画及び再生可能エネルギー源等の価値の保有状況・計画

種類	概要(規模、場所など)	導入(保有)年度
同上		

(3) 基準年度までに実施したエネルギーの効率的な利用を図るための設備等の導入・検討状況

(導入済みの場合は「○」、導入検討中の場合は「△」、導入予定なしの場合は「×」を記載してください。)

設備等の種類	導入等の状況	設備等の種類	導入等の状況
電気自動車等への充電設備	×	エネルギー管理システム (FEMS、BEMS等)	×
電気自動車等から建物等への給電設備	×	その他 (×)	
EV、PHV、FCV	×	その他 (×)	

5 他の者の温室効果ガスの排出の抑制等に寄与する措置に係る事項

計 画	特になし
第1年度	
第2年度	
第3年度	

6 その他、地球温暖化対策の推進への貢献に係る事項

計 画	特になし
第1年度	
第2年度	
第3年度	

7 基準年度のエネルギー起源CO₂の排出の量等の実績 (1、2号該当者等)

(1) 事業者単位

ア エネルギー起源CO₂の排出量

(実)	4,915	t-CO ₂
(調)	-	

イ 原油換算エネルギー使用量

2,480	KL
-------	----

ウ 事業所の数

2

(2) 事業所等単位

ア 年間の原油換算エネルギー使用量が 1,500kl 以上の事業所

事業所の名称	事業所の所在地	エネルギー起源CO ₂ の排出量
南関東第一工場	神奈川県川崎市川崎区東扇島6-10 かわさきファズA棟3-9	4,538 t-CO ₂
		t-CO ₂
		t-CO ₂
		t-CO ₂

イ 年間の原油換算エネルギー使用量が原油換算で 500kl 以上 1,500kl 未満の事業所

事業所の名称	事業所の所在地	エネルギー起源CO ₂ の排出量
		t-CO ₂
		t-CO ₂
		t-CO ₂
		t-CO ₂